

# 2020年3月期第1四半期 決算説明会

## 1. 地域別市場環境と見通しについて

執行役営業本部長 先崎 正文

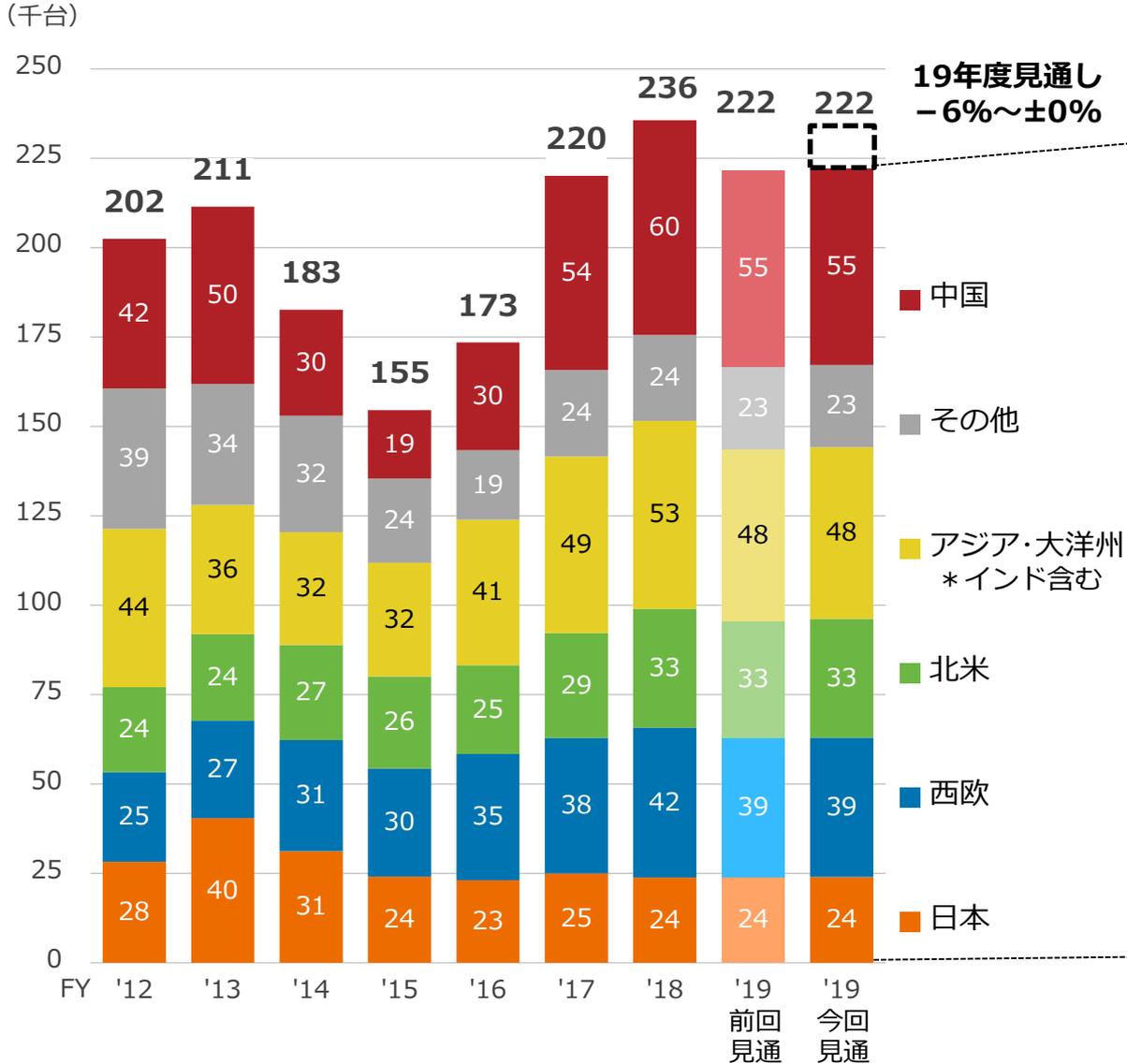
## 2. 2020年3月期第1四半期 決算について

執行役専務兼CFO 桂山 哲夫

2019年7月25日

## 1. 地域別市場環境と見通しについて

執行役 営業本部長  
先崎 正文



※当社推定 中国国産メーカー含まず  
※複写・転用はご遠慮下さい

## 地域別需要対前年増減

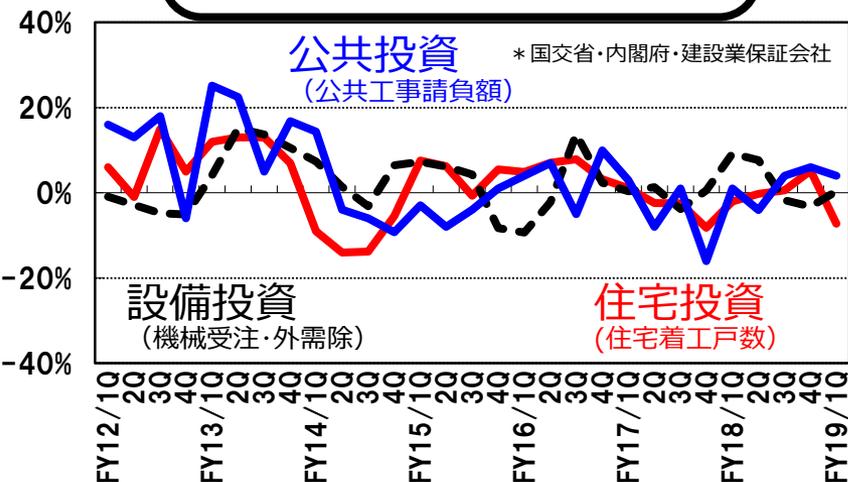
	'18	'19
合計	+7%	-6%
中国	+11%	-9%
ロシア・CIS	+31%	-13%
東欧		
アフリカ	-4%	+0%
中東	-45%	-2%
中南米	+5%	-5%
その他	-1%	-6%
インド	+14%	-4%
インドネシア	+13%	-18%
他	-3%	-9%
アジア・大洋州	+6%	-9%
北米	+13%	+0%
西欧	+11%	-7%
日本	-5%	+1%

## ■ 新興国比率：19年度 57% (対前年-1%)

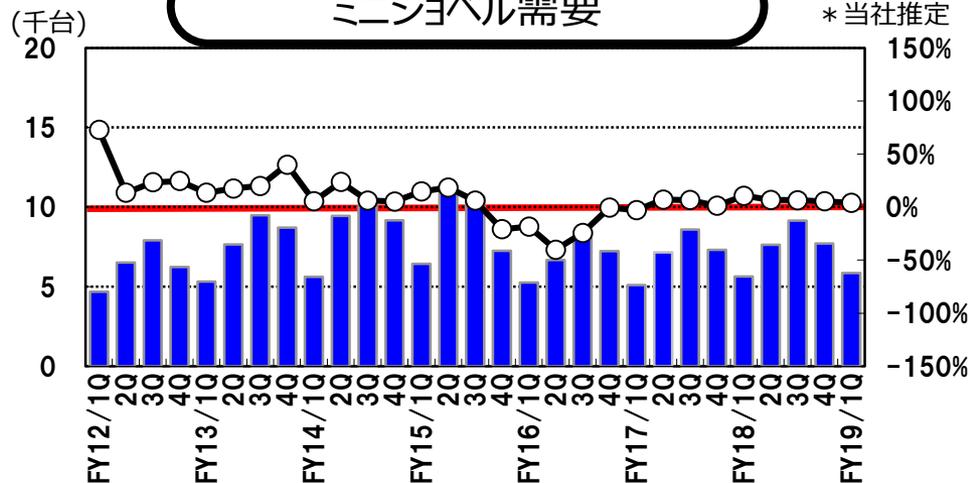
※新興国：中国、アジア・大洋州、その他

- 公共投資は増加、設備投資は横ばい、住宅投資は減少で強弱織り交ざった状況
- 油圧・ミニ需要は増加、WL需要は微減（対前年同期 油圧17%増、ミニ4%増、WL1%減）

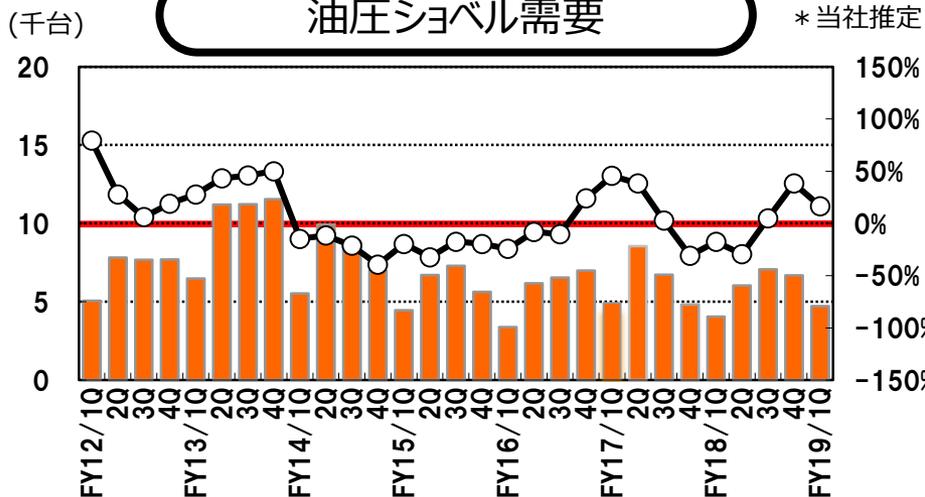
住宅・設備・公共投資 (対前年同期)



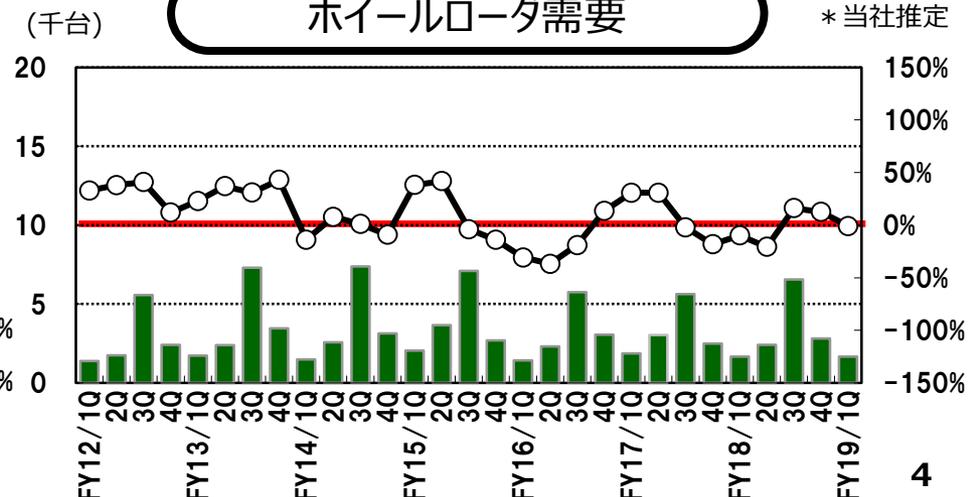
ミニショベル需要



油圧ショベル需要



ホイールローダ需要

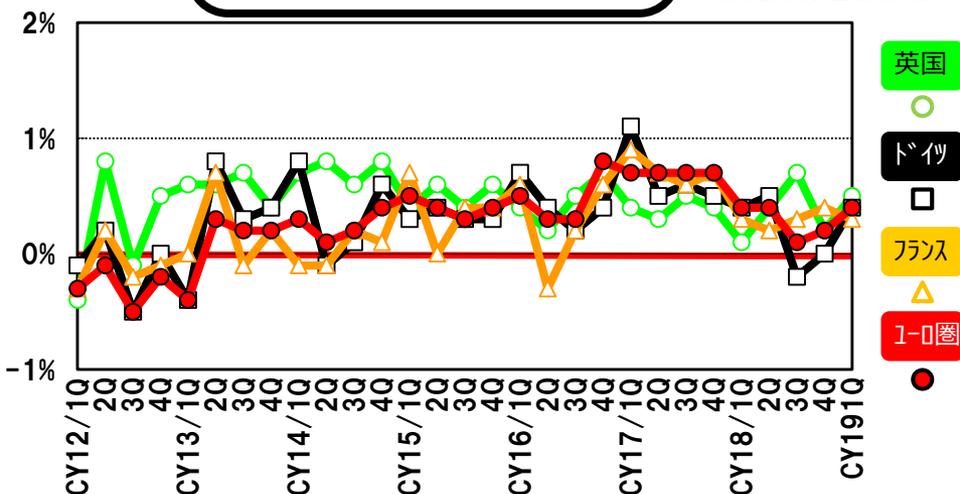


■ ユーロ圏全体のGDP成長率は前期より微増

■ 油圧・WL需要で増加、ミニ需要は横ばい (対前年同期 油圧5%増、WL10%増、ミニ±0%)

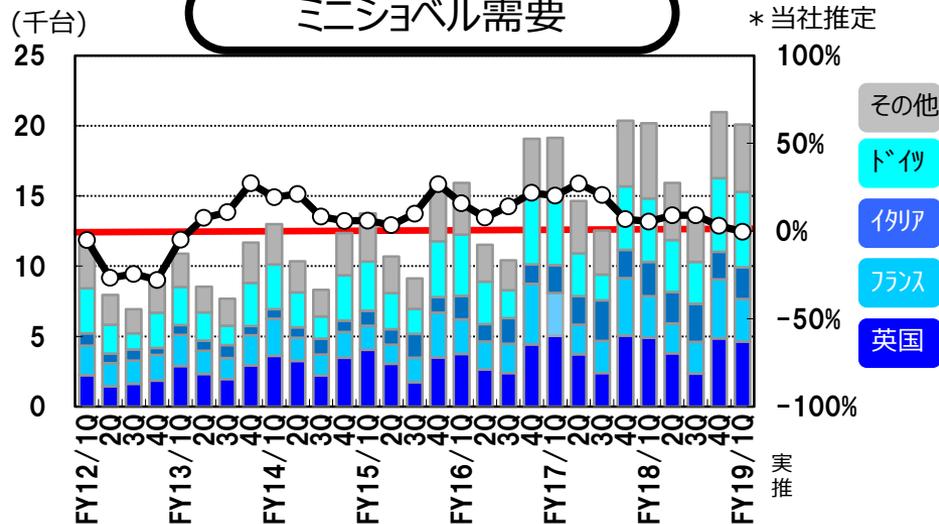
### 主要国GDP (対前期比)

\* Source: Eurostat



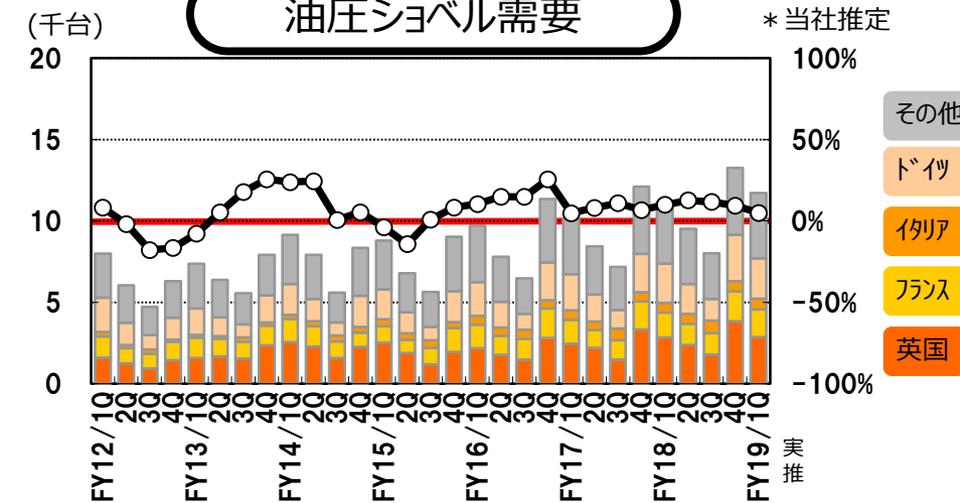
### ミニショベル需要

\* 当社推定



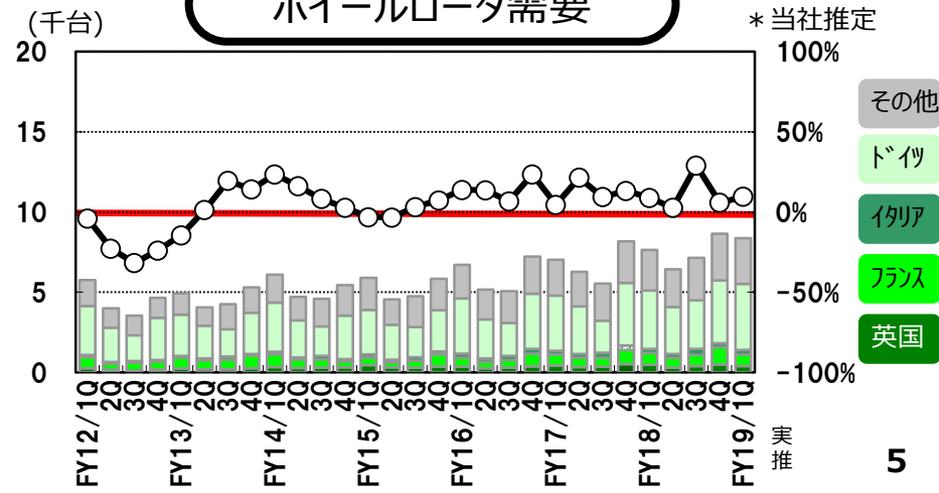
### 油圧ショベル需要

\* 当社推定



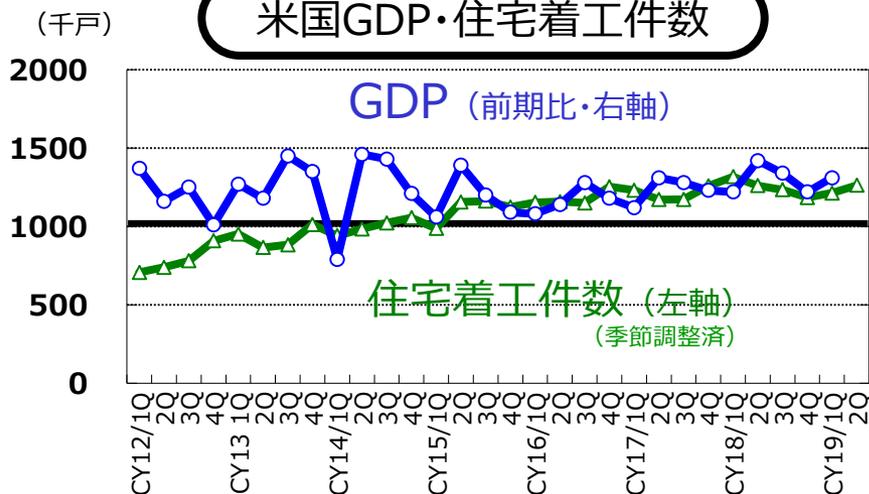
### ホイールローダ需要

\* 当社推定



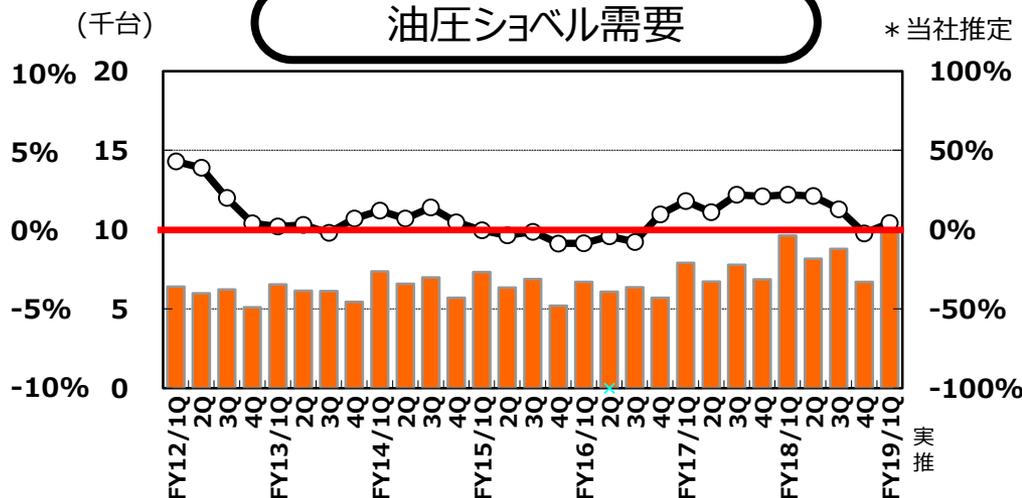
- 住宅着工件数は対前年同期で横ばい、建設投資は公共工事で伸長も一般住宅は減少
- 油圧需要は微増、ミニ需要は横ばい (対前年同期 油圧+4%、ミニ±0%)

### 米国GDP・住宅着工件数

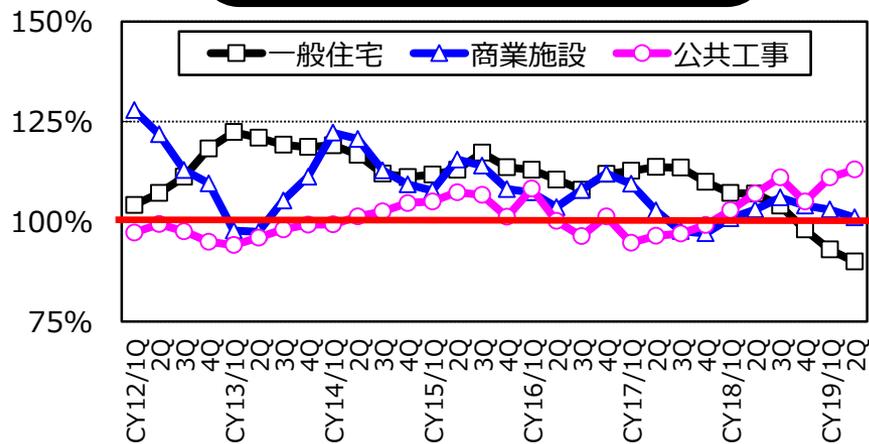


\* Bureau of Economic Census, US Census Bureau

### 油圧ショベル需要

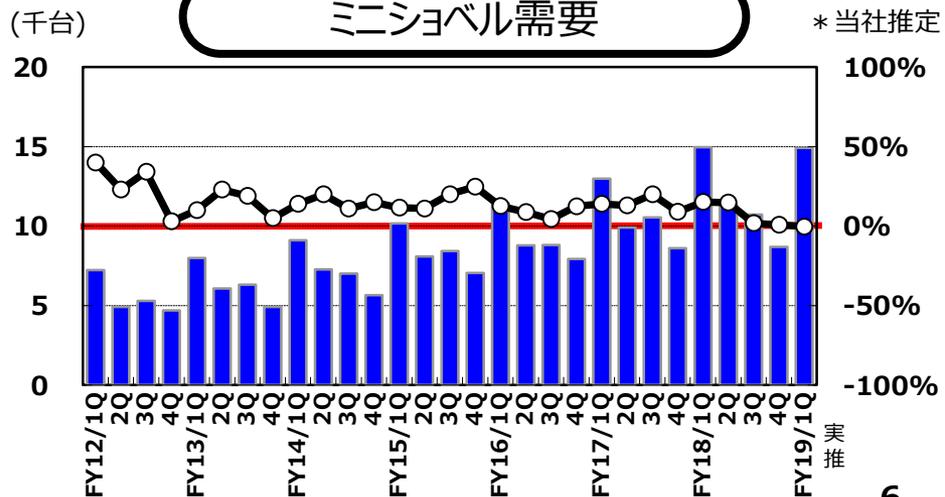


### 米国建設投資 (対前年同期)



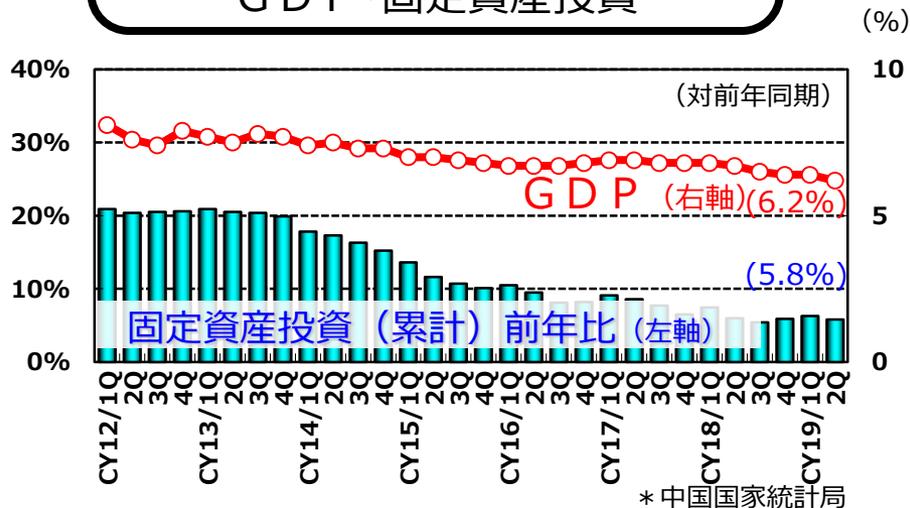
\* Bureau of Economic Census, US Census Bureau

### ミニショベル需要

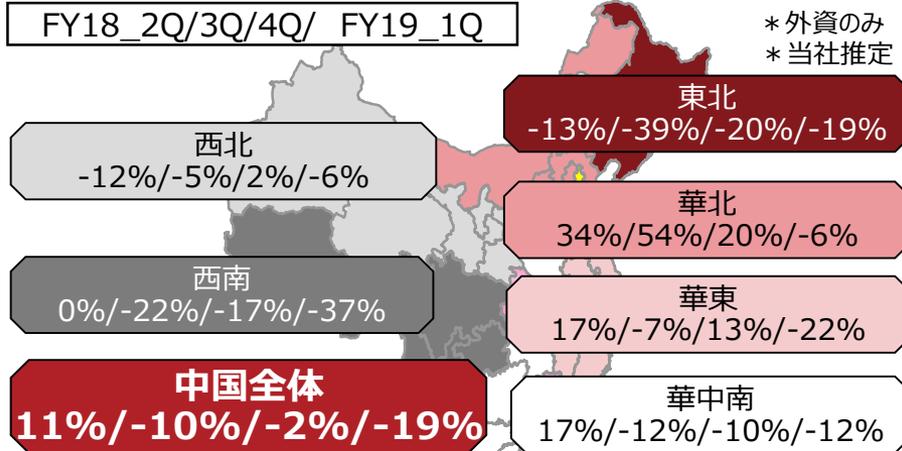


- GDP成長率は6.2%
- 油圧需要減 (対前年同期 19%減) ※外資のみ

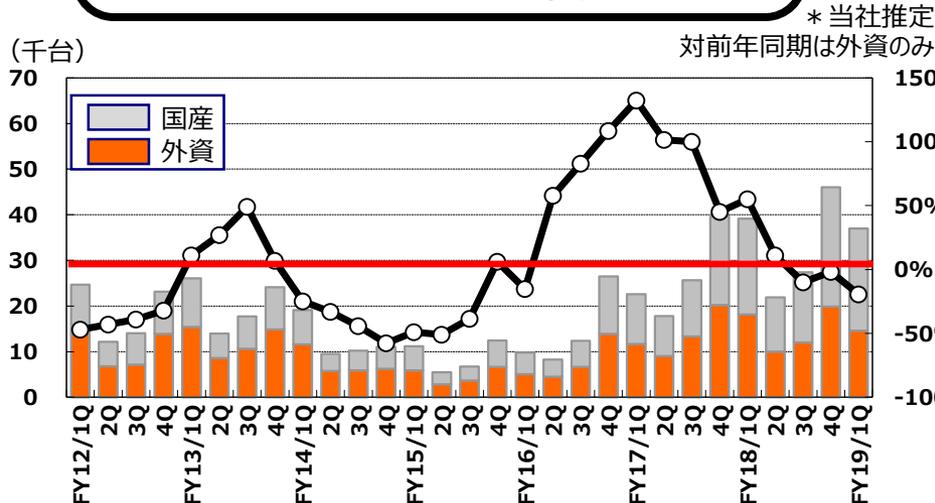
### GDP・固定資産投資



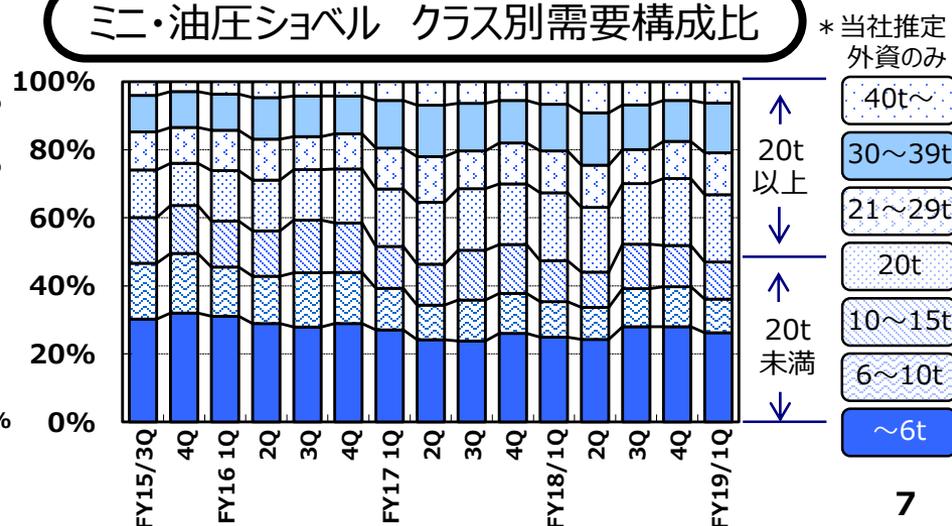
### 地域別油圧シヨベル四半期別前年比

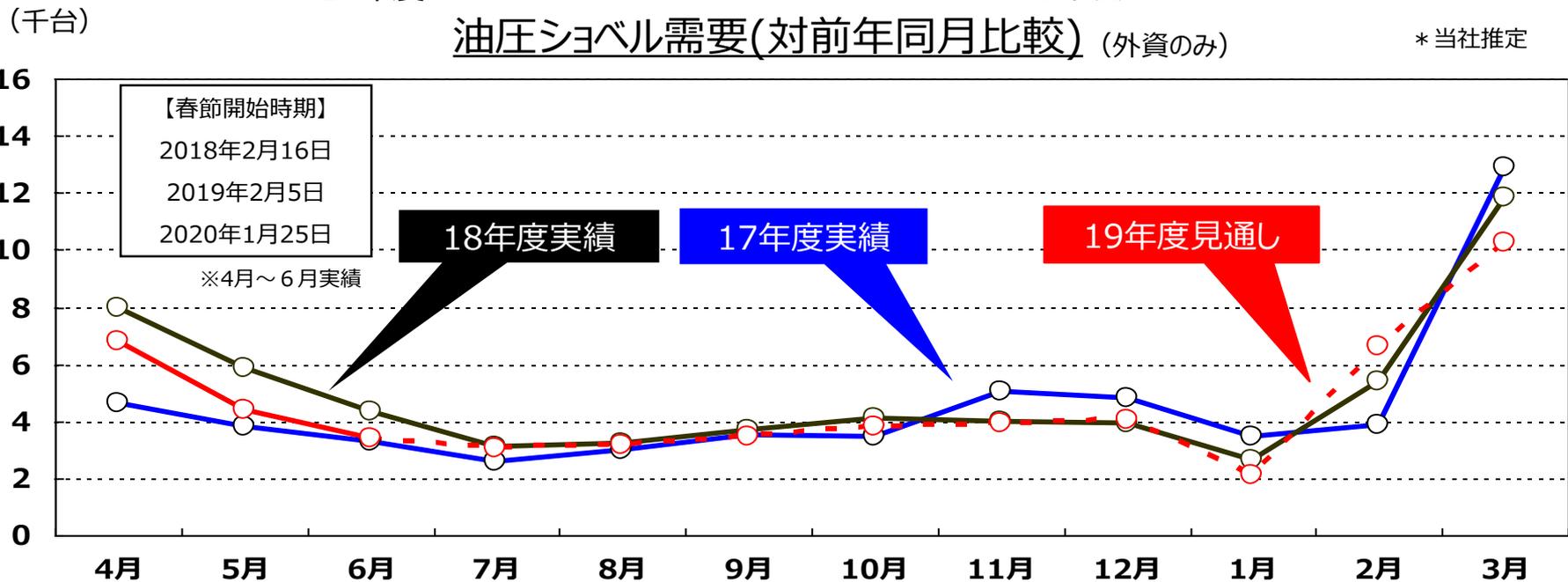
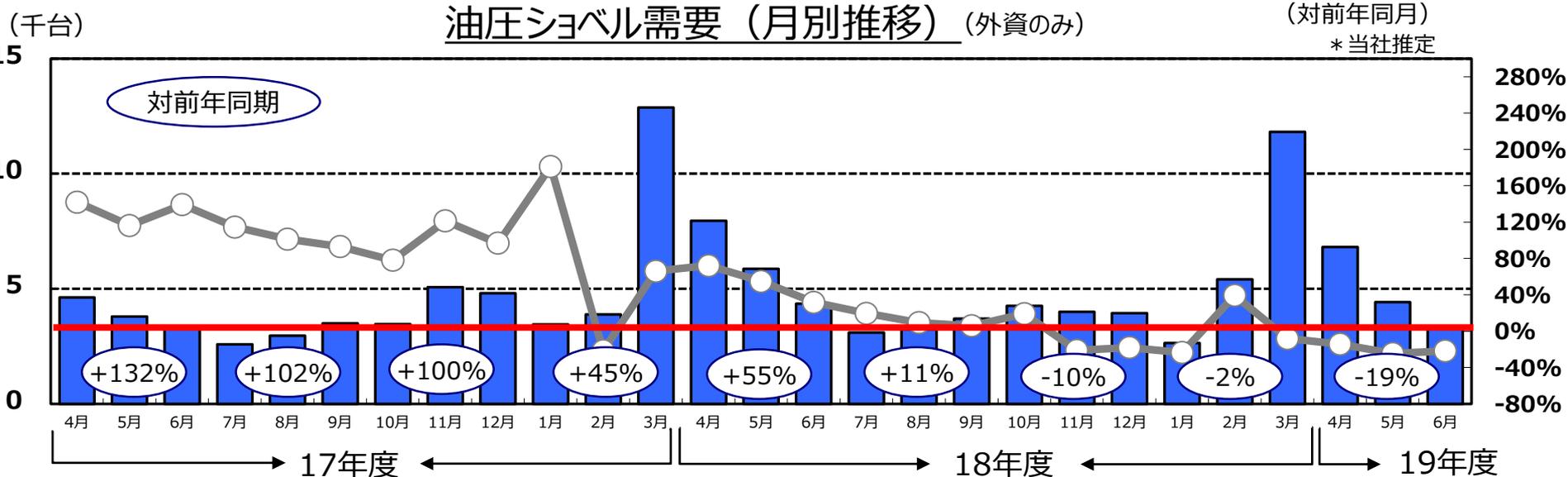


### 油圧シヨベル需要

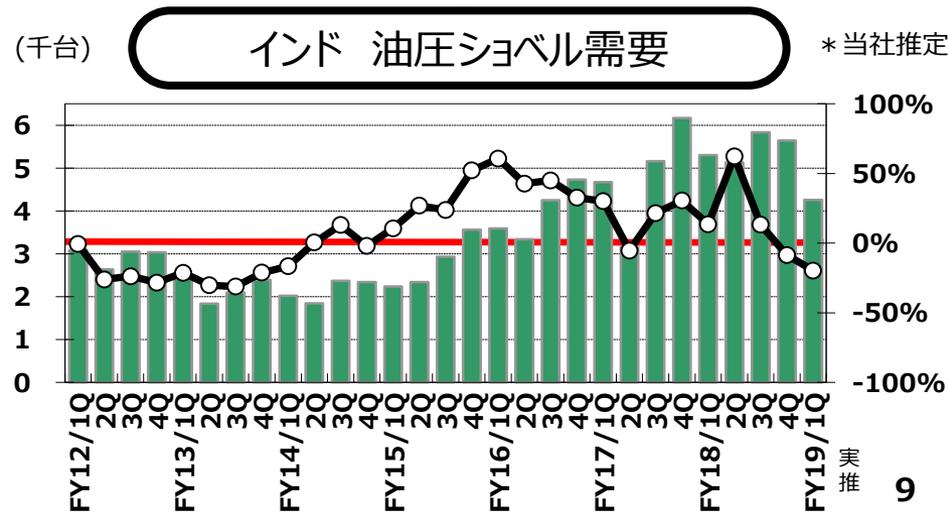
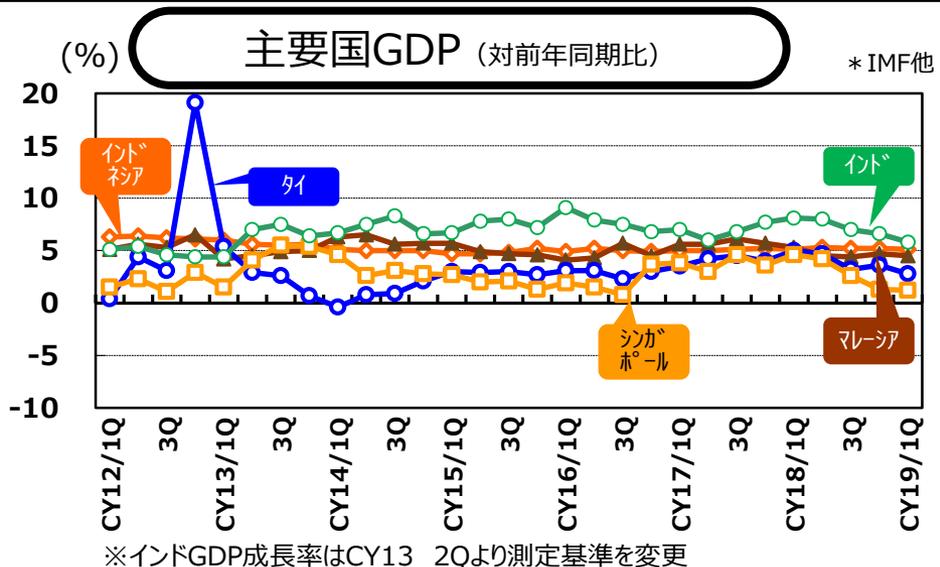
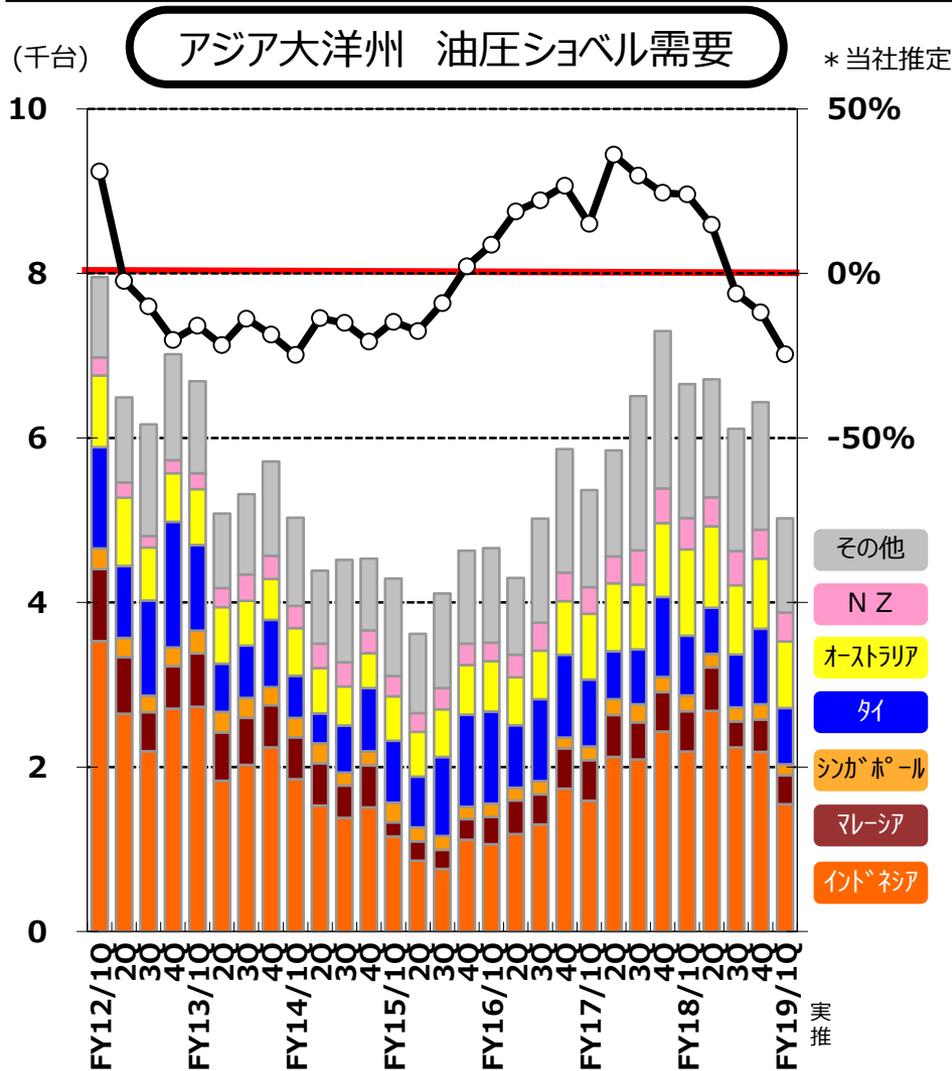


### ミニ・油圧シヨベル クラス別需要構成比



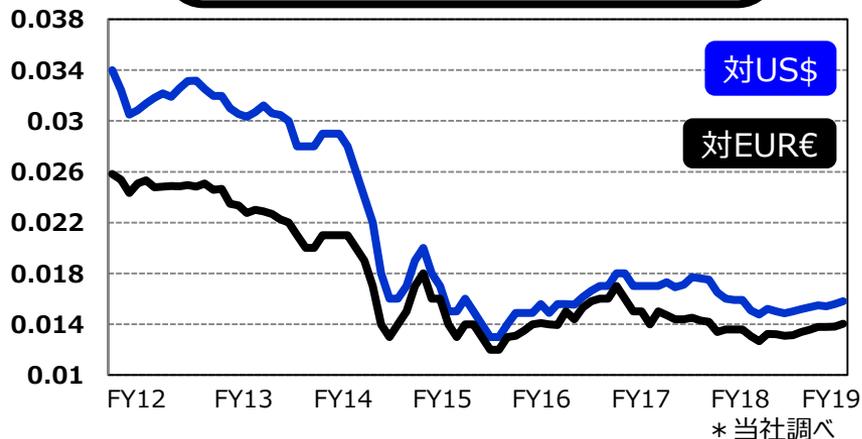


- アジア大洋州の油圧需要は全体では対前年同期25%減
- インドの油圧需要は対前年同期で20%減

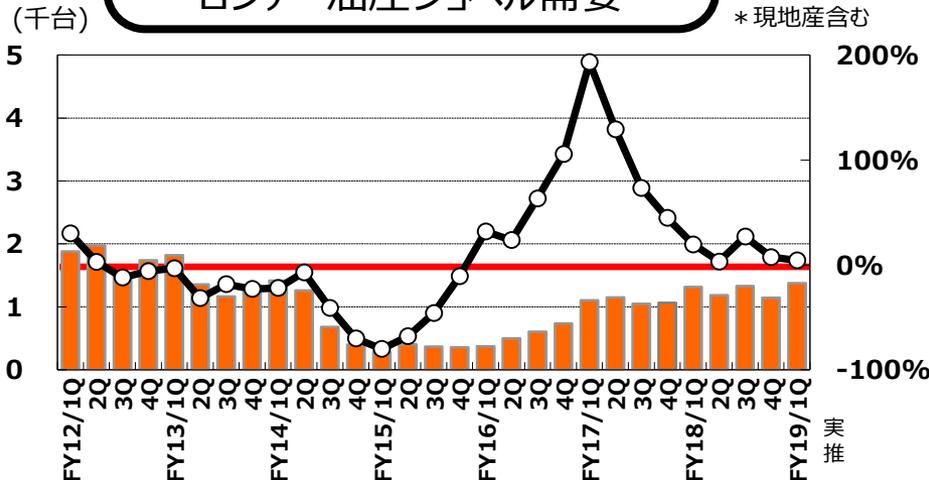


- ロシアの油圧需要は対前年同期で4%微増
- 中東の油圧需要は、トルコが引続き大幅減であるが湾岸地区では底打ち感が出ている。

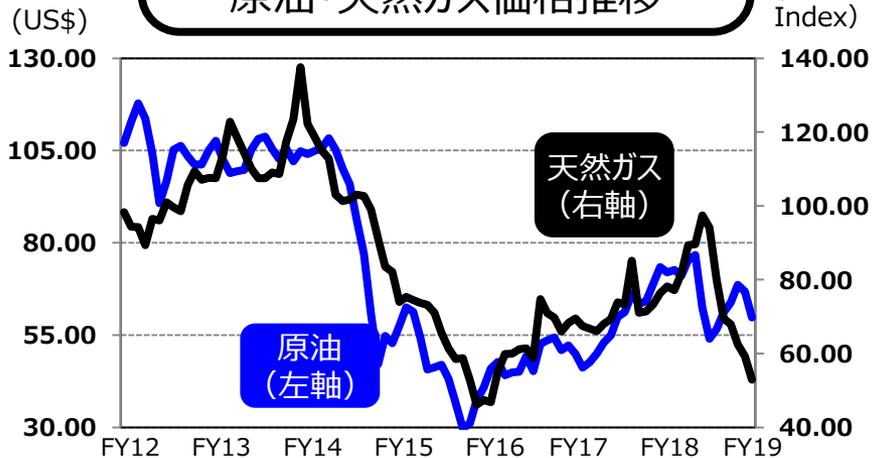
### ルーブル為替推移



### ロシア 油圧ショベル需要

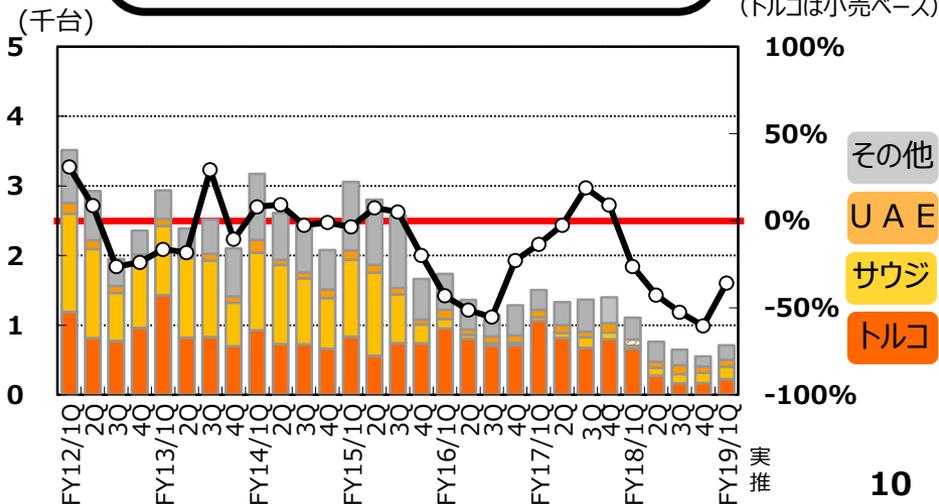


### 原油・天然ガス価格推移



\* 世界銀行ホームページより当社作成 \* 天然ガスIndex : 2010年=100

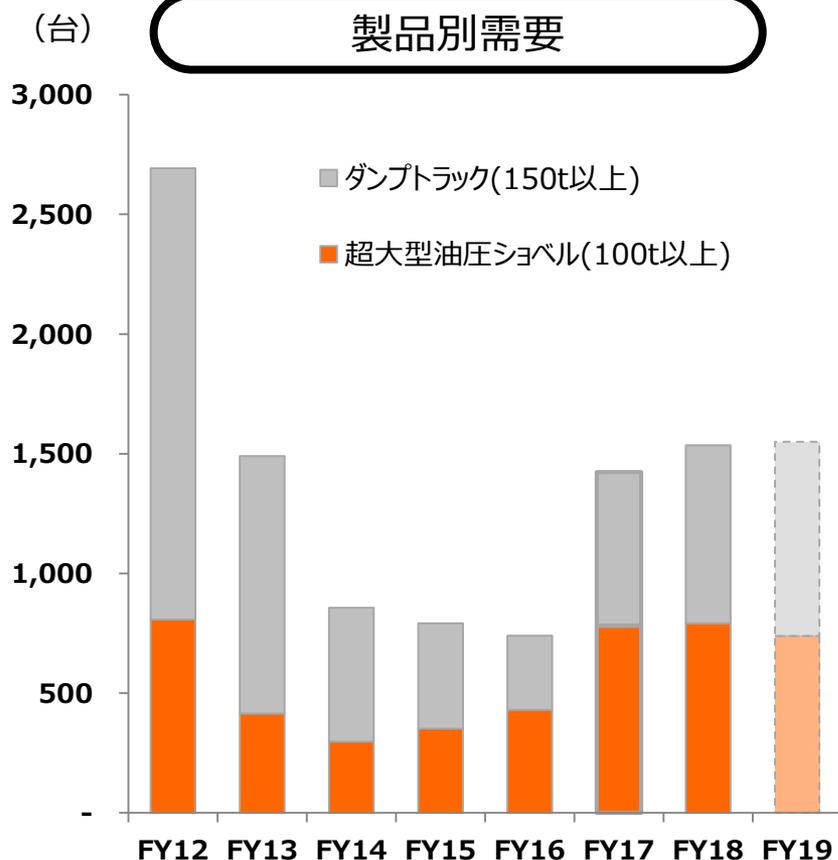
### 中東 油圧ショベル需要



- 19年度マイニング需要は大幅な増減なく、ほぼ横ばい
- クラス別では、中小規模鉱山・コントラクタ向け運転質量100-250tクラスの超大型油圧ショベルは減少、大手向け300t以上の超大型油圧ショベル及び積載質量150トン以上のダンプトラックの地合は強い

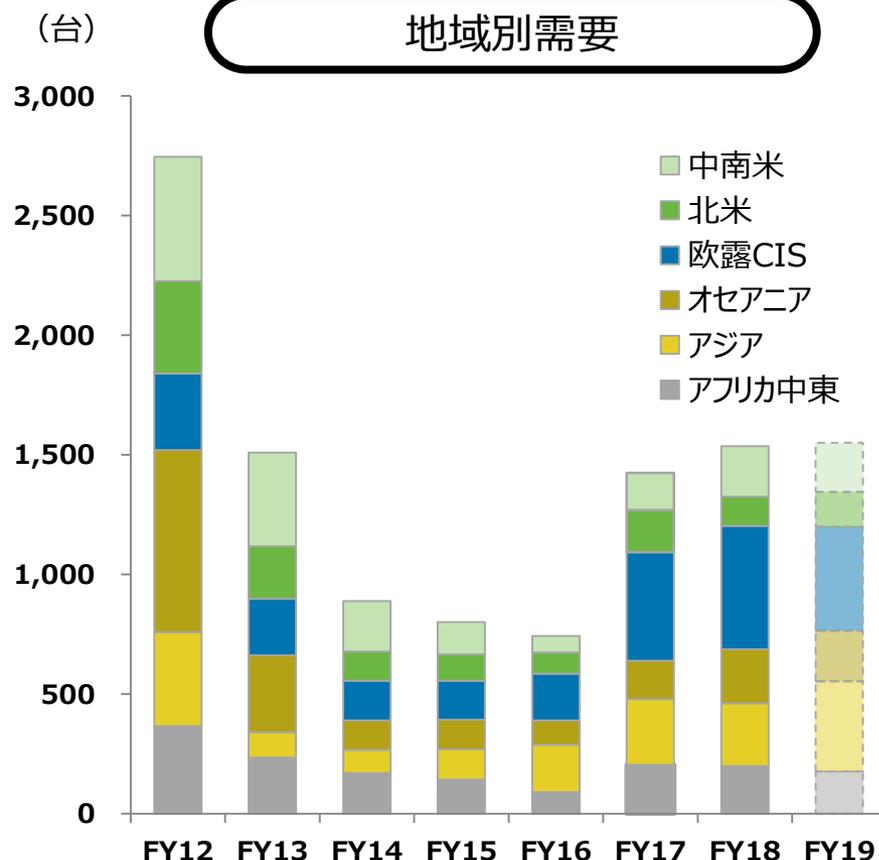
### 超大型油圧ショベル(100t以上) 、ダンプトラック(150t以上)

製品別需要

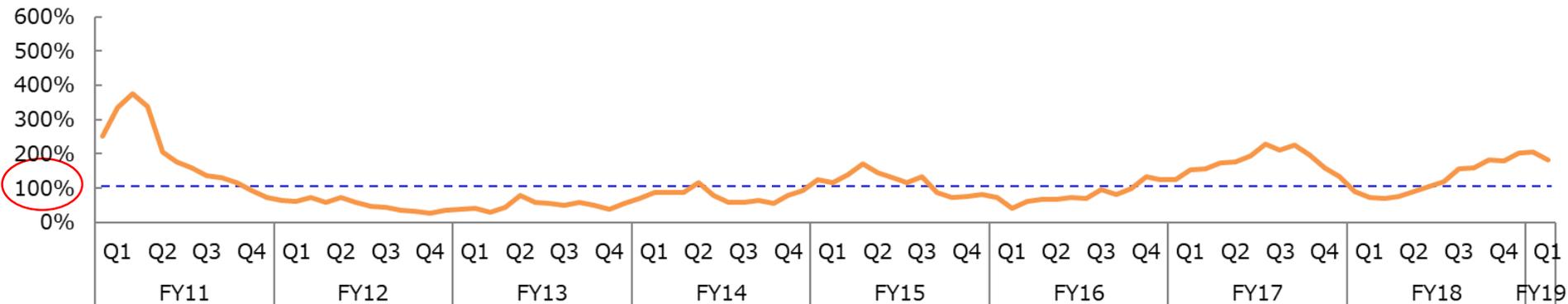


※当社調べ

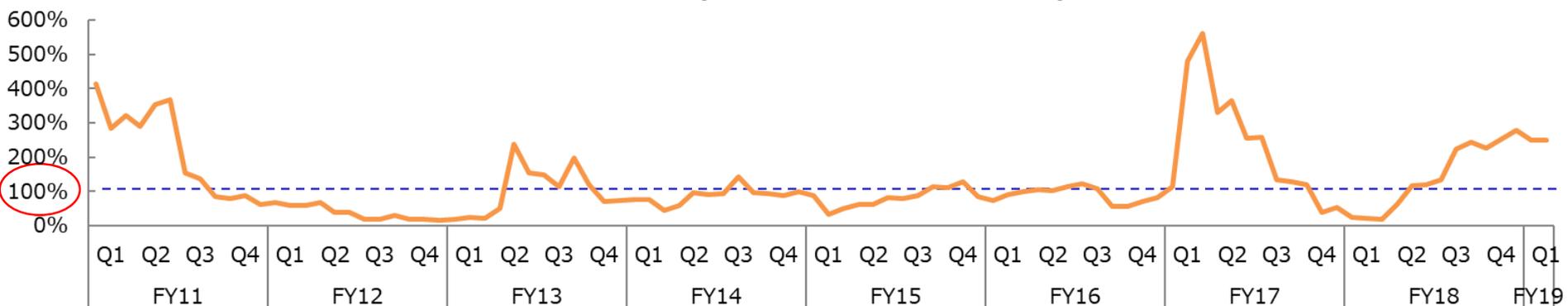
地域別需要



## BB Ratio(超大型油圧ショベル100t以上)



## BB Ratio(ダンプトラック150t以上)



※Book-to-Bill(BB)Ratio = Booking(受注額)/ Billing(出荷額)

当社単独の受注・出荷額の6ヶ月平均

## 重掘削仕様の大型油圧ショベル 21台を受注

日立建機（上海）有限公司が中国レンタル市場向け建設機械をカナモト中国殿より大口受注。

今回の受注を契機に、中国市場におけるバリューチェーン事業を拡大・強化。

12 つくる責任  
つかう責任



大型油圧ショベルの出荷式典（7月9日）

## ICT施工の全工程を学べる教習プログラムの開発・提供

日立建機教習センタを共同出資会社とし、アウトソーシンググループとともに、起工測量から、設計・施工計画、施工、検査、データ納品まで、ICT施工の全工程について学ぶことができる教習プログラムを開発・提供。

4 質の高い教育を  
みんなに



人材業界【教育/育成】の  
アウトソーシンググループ

共同出資



ICT施工ソリューションを  
提供する日立建機グループ

起工測量



設計・施工計画



施工



検査



日立建機グループでは、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち、10項目の重点目標を設定しています。

当資料内のトピックスはこの区分に該当するアイコンを表記し、紹介しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

## 2. 2020年3月期第1四半期 決算について

執行役専務兼CFO

桂山 哲夫

■ 為替円高影響などにより、売上収益は対前年同期2%減収、調整後営業利益は17%減益

(単位：億円)

	19年度 1Q	18年度 1Q	対前年同期 増減率	
売上収益	2,347	2,402	△2%	
調整後営業利益 *1	(9.8%) 229	(11.5%) 276	△17%	
営業利益	(10.1%) 237	(10.7%) 257	△8%	
税引前四半期利益	(9.2%) 216	(10.4%) 250	△14%	
親会社株主に帰属する 四半期利益	(5.8%) 136	(6.5%) 157	△13%	
E B I T *2	(9.7%) 228	(10.7%) 256	△11%	
為 替	アメリカドル	109.9	109.1	0.8
	ユーロ	123.5	130.1	△6.6
	中国元	16.1	17.1	△1.1
	オーストラリアドル	76.9	82.6	△5.7

\*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

\*2 [EBIT]は、税引前当期利益から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。(EBIT=Earnings before interests and taxes)

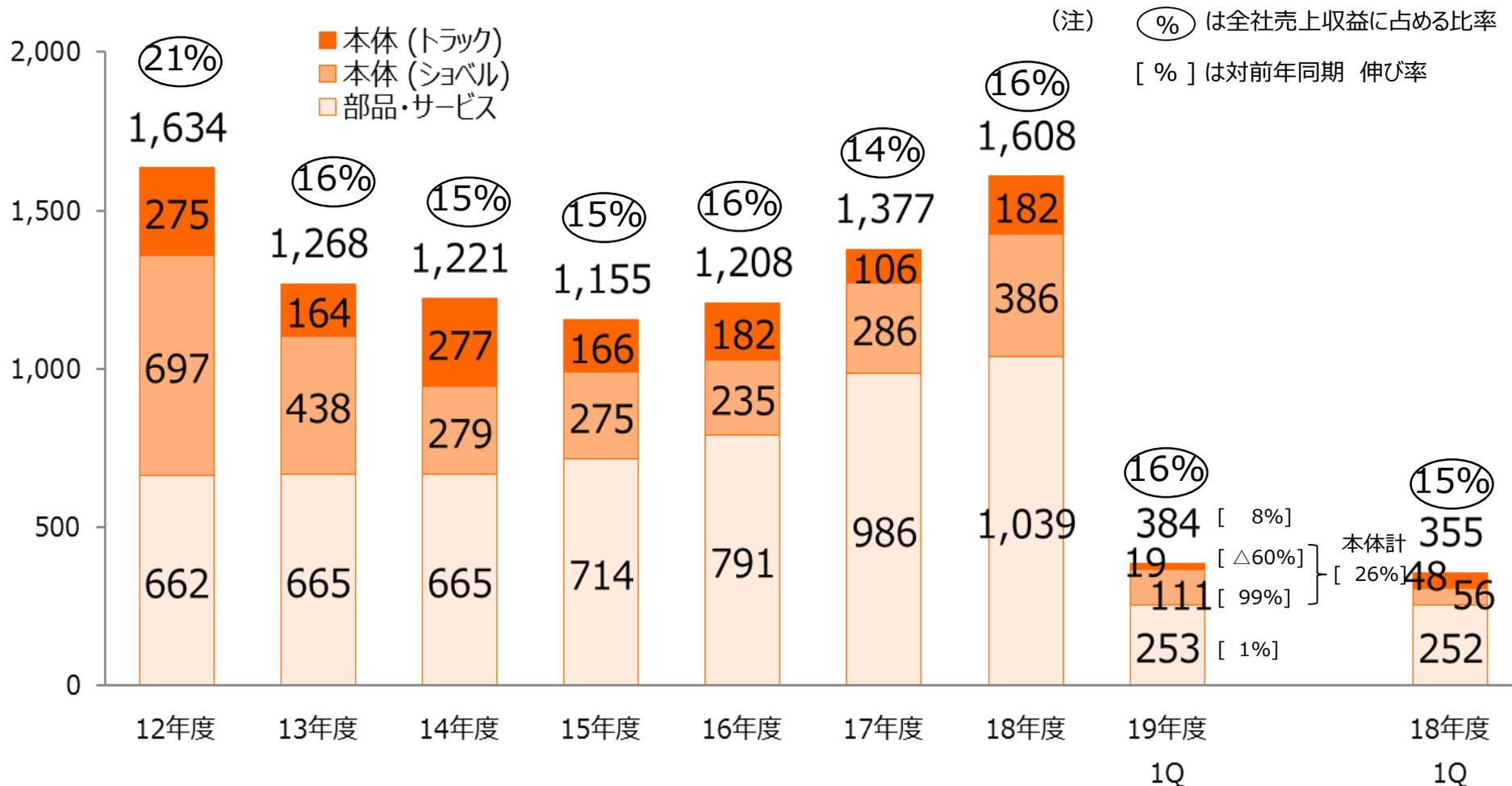
■ 北米、ロシアCIS、日本は対前年同期比増収なるも、他の各地域では対前年同期比減収

(単位：億円)

	19年度 1Q		18年度 1Q		対前年同期比	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本	409	17%	395	16%	14	4%
アジア	167	7%	182	8%	△ 15	△ 8%
インド	134	6%	166	7%	△ 32	△ 19%
オセアニア	380	16%	420	17%	△ 40	△ 10%
欧州	282	12%	286	12%	△ 4	△ 1%
北米	471	20%	383	16%	88	23%
中南米	38	2%	48	2%	△ 10	△ 21%
ロシアCIS	101	4%	62	3%	39	62%
中東	17	1%	44	2%	△ 27	△ 61%
アフリカ	83	4%	94	4%	△ 11	△ 12%
中国	265	11%	322	13%	△ 57	△ 18%
合計	2,347	100%	2,402	100%	△ 55	△ 2%
海外売上収益比率	83%		84%			

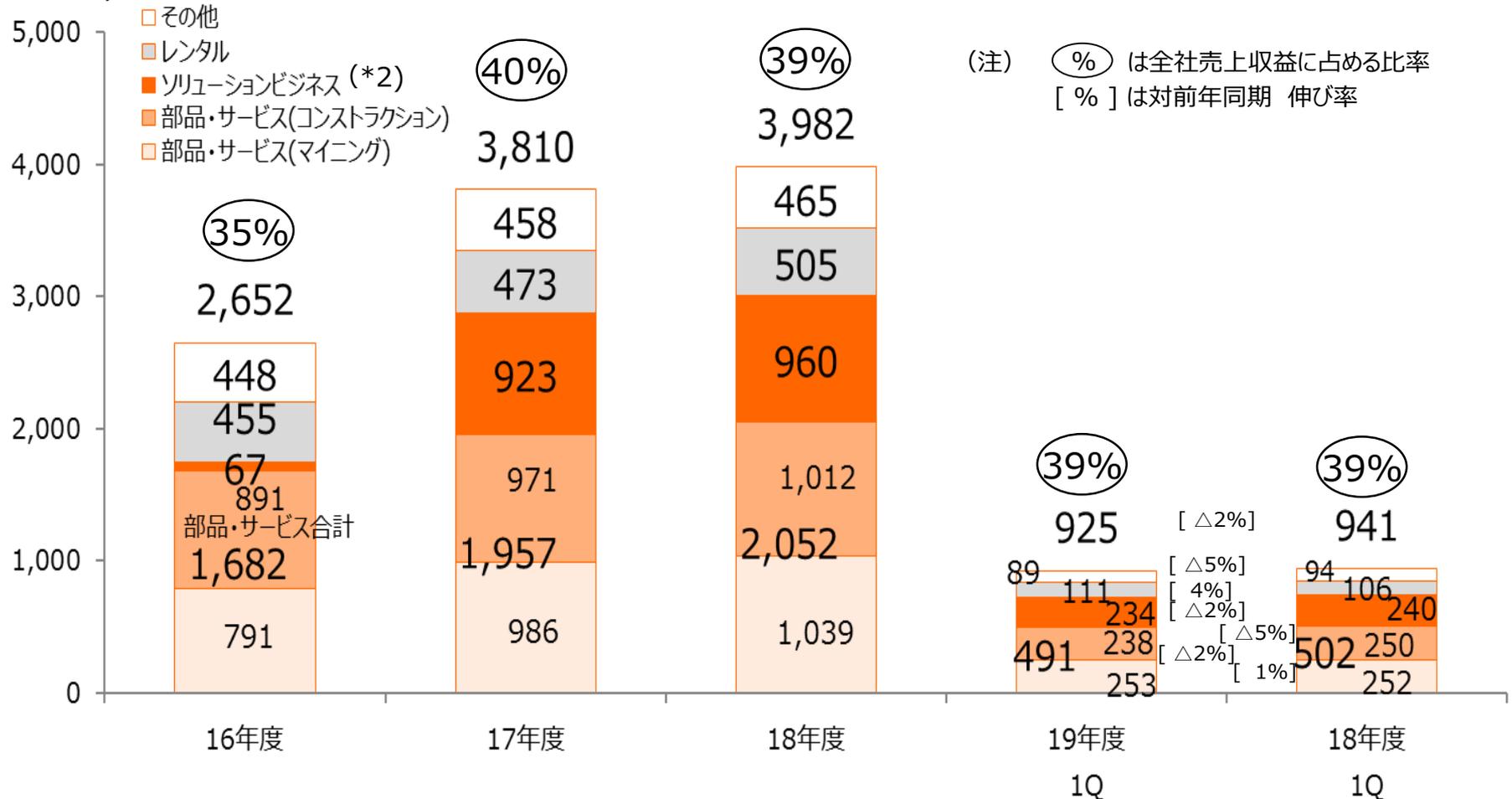
- 当第1四半期のマイニング売上収益は、対前年同期比8%増の384億円
- 特に本体売上収益は、対前年同期比26%の増加

(単位：億円)



■ 当第1四半期のバリューチェーン売上収益は、為替円高影響（△35億円）により対前年同期比で16億の減収なるも為替影響を除けば19億円増収

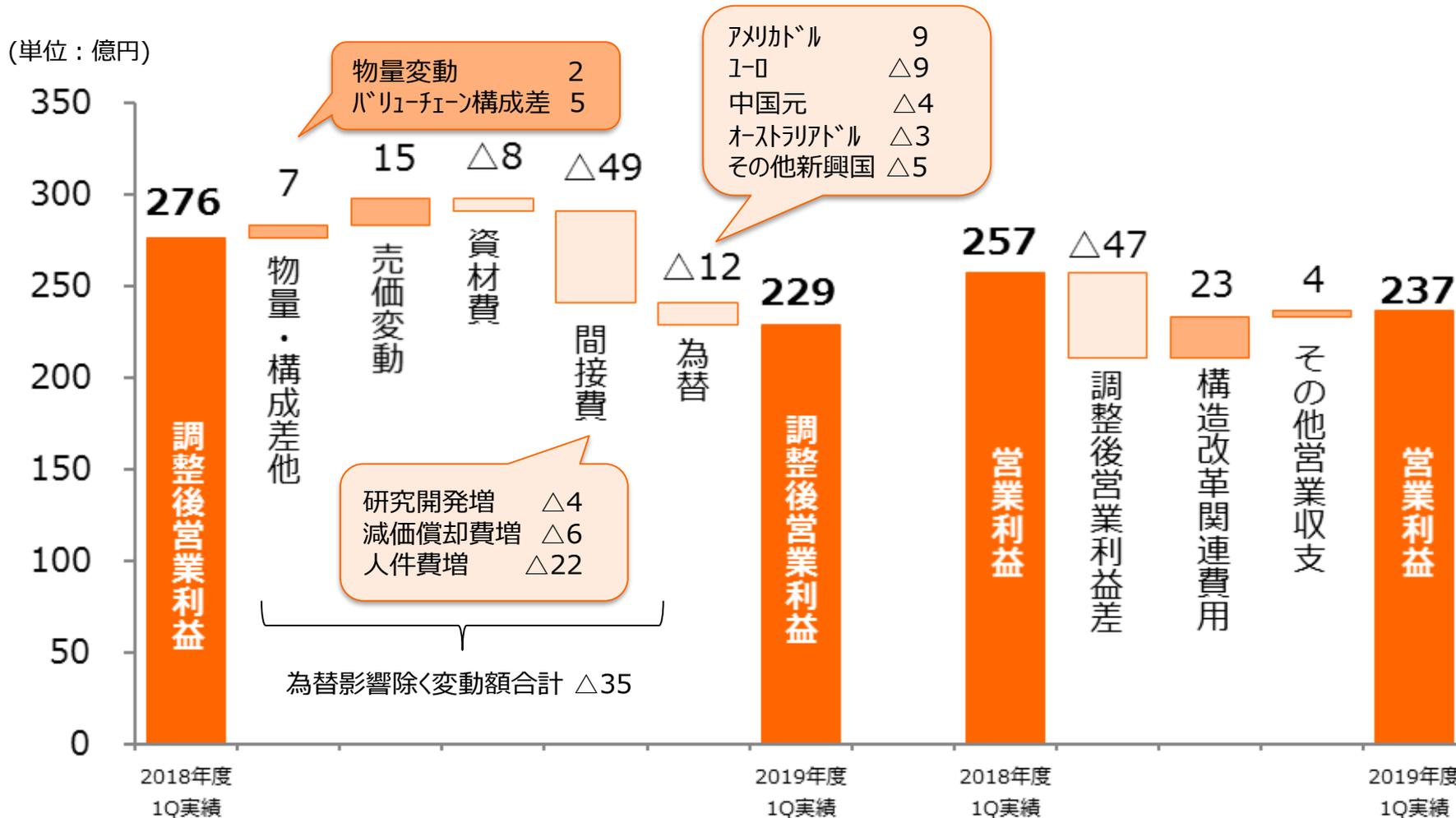
(単位：億円)



( \* 1 ) バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計

( \* 2 ) ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

■ 調整後営業利益は、物量・構成差や売価の改善はあるも、為替円高影響と間接費の増加などにより47億円の減益



- 営業利益は237億円と対前年同期比△20億円(8%)の減益
- 親会社株主に帰属する四半期利益も136億円と対前年同期比△21億円(13%)の減益

(単位：億円)

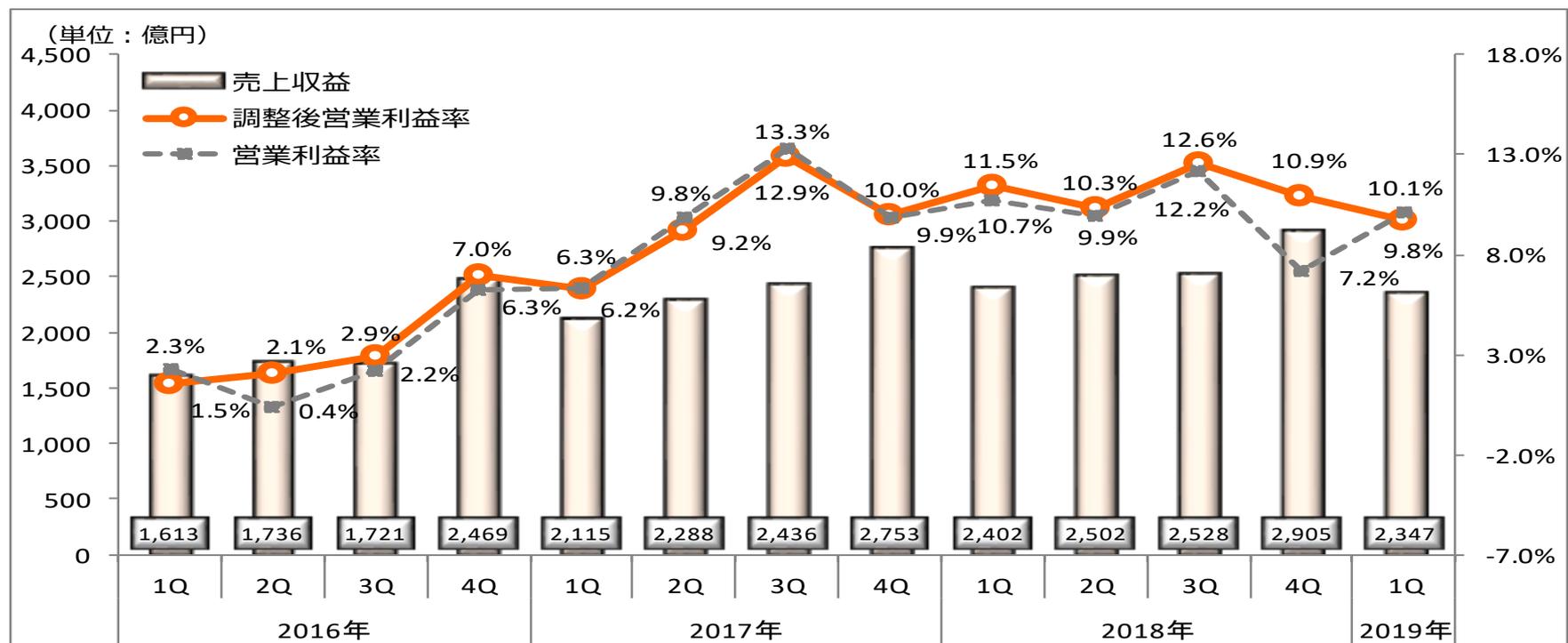
	19年度		18年度		対前年同期比	
	1Q		1Q		金額	増減率
売上収益		2,347		2,402	△55	△2%
売上原価	(71.5%)	1,678	(70.8%)	1,700	△22	△1%
販売費・管理費	(18.8%)	440	(17.7%)	426	14	3%
調整後営業利益 *1	(9.8%)	229	(11.5%)	276	△47	△17%
その他の収益及び費用		8		△19	26	-
営業利益	(10.1%)	237	(10.7%)	257	△20	△8%
金融収益及び費用		△28		△10	△17	165%
持分法投資損益		7		4	4	104%
税引前四半期利益	(9.2%)	216	(10.4%)	250	△34	△14%
法人所得税費用		61		67	△6	△10%
四半期利益	(6.6%)	155	(7.6%)	183	△28	△15%
親会社株主に帰属する 四半期利益	(5.8%)	136	(6.5%)	157	△21	△13%
四半期包括利益合計額		37		144	△108	△74%

\*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

# 要約連結 四半期別売上収益・営業利益（率）

(単位:億円)

	2016年				2017年				2018年				2019年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	1,613	1,736	1,721	2,469	2,115	2,288	2,436	2,753	2,402	2,502	2,528	2,905	2,347
調整後営業利益	24	36	50	173	132	210	315	275	276	258	318	317	229
営業利益	37	7	38	155	134	225	324	271	257	248	308	210	237



四半期別 為替レート	2016年				2017年				2018年				2019年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
アメリカドル	108.1	102.4	109.3	113.6	111.1	111.0	113.0	108.3	109.1	111.5	112.9	110.2	109.9
ユーロ	122.0	114.3	117.8	121.1	122.2	130.4	133.0	133.2	130.1	129.6	128.8	125.2	123.5
中国元	16.5	15.4	16.0	16.6	16.2	16.6	17.1	17.1	17.1	16.4	16.3	16.3	16.1
オーストラリアドル	80.6	77.6	81.9	86.2	83.4	87.6	86.8	85.3	82.6	81.5	81.1	78.5	76.9

■ 国際会計基準（IFRS）16号の適用開始により、前年度末よりも約400億円のリース資産の増加影響あるも、現預金と売掛債権の圧縮により、総資産は前年度末よりも239億円の増加

(単位：億円)

	(A) 19年1Q	(B) 18年度末	(C) 18年1Q	(A)-(B) 増減		(D) 19年1Q	(E) 18年度末	(F) 18年1Q	(D)-(E) 増減
現金及び現金同等物	565	673	811	△109	営業債務及びその他債務合計	2,245	2,758	2,631	△513
営業債権	2,216	2,382	2,048	△166	社債及び借入金	3,333	3,048	2,744	285
棚卸資産	3,375	3,248	2,819	127	負債の部合計	6,781	6,426	5,934	355
流動資産合計	6,614	6,739	6,160	△125	(親会社株主持分比率)	(39.3%)	(41.0%)	(40.9%)	(△1.7%)
非流動資産合計	5,478	5,114	4,864	364	資本の部合計	5,311	5,427	5,090	△115
資産の部合計	12,092	11,853	11,024	239	負債・資本の部合計	12,092	11,853	11,024	239
非流動を含めた営業債権	2,668	2,826	2,460	△158					
棚卸資産 内訳					(有利子負債比率)	(27.6%)	(25.7%)	(24.9%)	(1.8%)
本体	958	893	672	64	有利子負債計	3,333	3,048	2,744	285
部品	1,045	1,022	964	23	現金及び現金同等物	565	673	811	△109
その他	1,373	1,333	1,184	40	(ネット有利子負債比率)	(22.9%)	(20.0%)	(17.5%)	(2.9%)
棚卸資産計	3,375	3,248	2,819	127	ネット有利子負債	2,768	2,375	1,933	394
手持日数 (分母は売上収益)				(単位：日)					
営業債権 (非流動含む)	95	100	91	△5	ネットD/Eレシオ	0.58	0.49	0.43	0.09
棚卸資産	120	115	104	5					
営業債務	52	57	62	△5					
正味運転資金	160	155	130	5					

■ 営業CFは△163億円の支出超過なるも、前年同期比では105億円の改善

(単位：億円)

	19年度 1Q		18年度 1Q		対前年同期比 増減額
四半期利益		155		183	△ 28
減価償却費	262	107	272	89	△ 10 18
売掛金及び受取手形の増減		64		127	△ 63
棚卸資産の増減	△ 227	△ 209	△ 302	△ 280	75 71
買掛金及び支払手形の増減		△ 83		△ 150	67
その他		△ 199		△ 238	39
営業活動に関するキャッシュ・フロー		△ 163		△ 268	105
営業キャッシュ・フローマージン率		△7.0%		△11.2%	4.2%
投資活動に関するキャッシュ・フロー		△ 110		△ 48	△ 62
フリー・キャッシュ・フロー		△ 273		△ 316	43
財務活動に関するキャッシュ・フロー		180		317	△ 137

■ 19年度連結業績予想は、先行きの経済状況や為替動向を鑑み、前回予想を据え置く

(単位：億円)

	19年度 予想			18年度 実績	対前年同期比	
					金額	増減率
売上収益	9,500			10,337	△ 837	△ 8%
	(9.1%)			(11.3%)	(△2.3%)	
調整後営業利益	860			1,168	△ 308	△ 26%
	(8.6%)			(9.9%)	(△1.3%)	
営業利益	820			1,023	△ 203	△ 20%
	(8.4%)			(9.9%)	(△1.5%)	
税引前当期利益	800			1,027	△ 227	△ 22%
	(5.1%)			(6.6%)	(△1.6%)	
親会社株主に帰属する 当期利益	480			685	△ 205	△ 30%
EBIT	835			1,056	△ 221	
通貨	1Q 実績	2Q-4Q 予想	年度 予想	18年度 実績	対前年 同期比	
アメリカドル	109.9	100.0	102.2	111.0	△ 8.8	
ユーロ	123.5	110.0	113.3	127.9	△ 14.6	
中国元	16.1	15.0	15.3	16.6	△ 1.3	
オーストラリアドル	76.9	77.0	77.0	80.9	△ 4.0	
1株当たり配当金 *1	未定			100円	-	

為替感応度は  
参考資料1を  
ご参照ください

\*1 [1株当たり配当金]は、連結業績に連動した剰余金の配当を原則として、中間と期末の2回に分けて同一年度に2度実施する方針であり、連結配当性向30%程度、もしくはそれ以上をめざします。

■ 19年度連結売上収益は、予想為替レートの円高影響△673億円により、対前年同期比837億円の減収を見込む

（単位：億円）

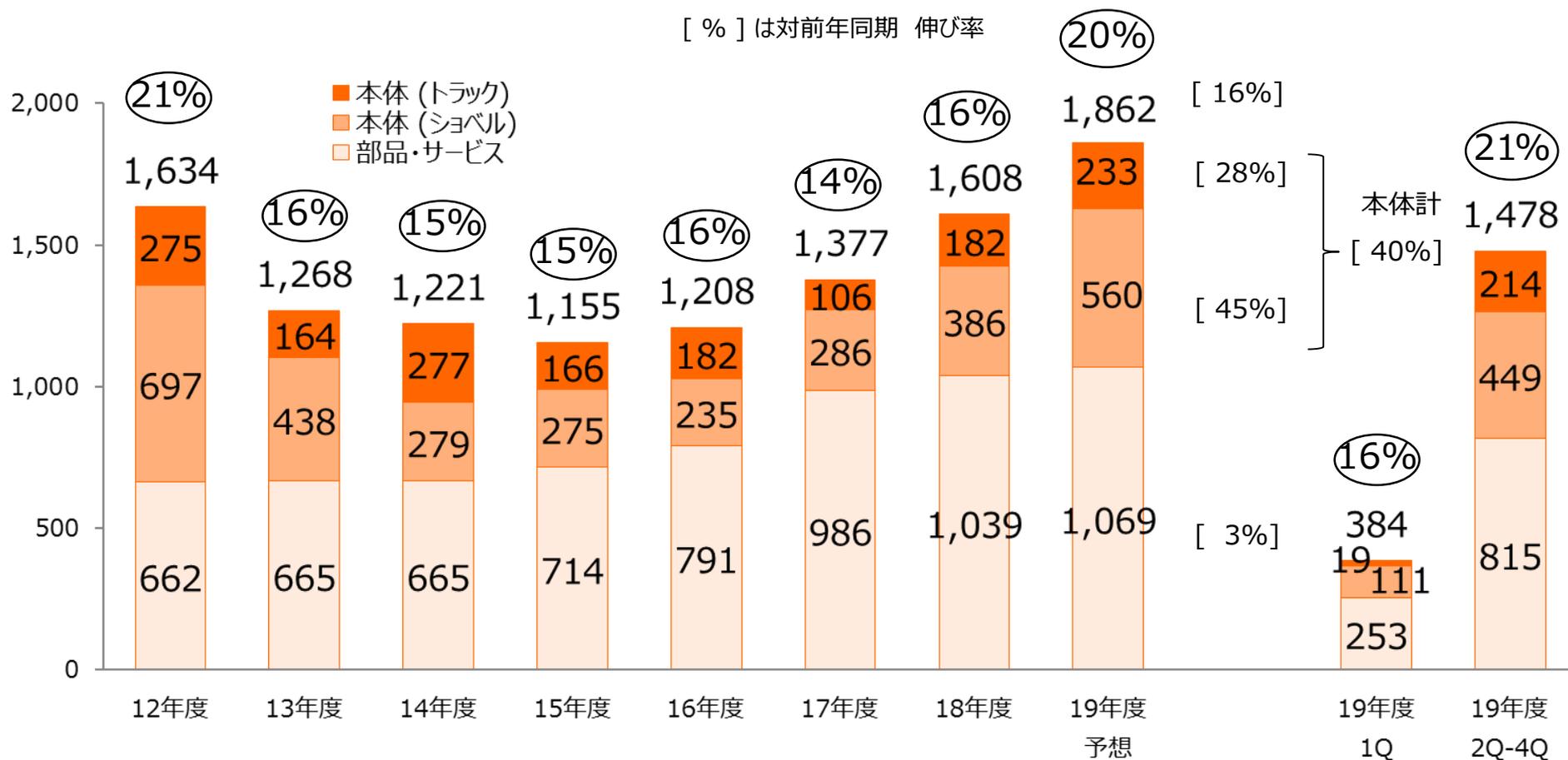
	19年度 予想		18年度 実績		対前年同期比	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本	2,066	22%	2,061	20%	5	0%
アジア	878	9%	885	9%	△7	△1%
インド	656	7%	679	7%	△23	△3%
オセアニア	1,483	16%	1,639	16%	△156	△10%
欧州	898	9%	1,116	11%	△218	△20%
北米	1,650	17%	1,687	16%	△36	△2%
中南米	141	1%	171	2%	△30	△18%
ロシアCIS	347	4%	344	3%	3	1%
中東	125	1%	118	1%	7	6%
アフリカ	314	3%	438	4%	△124	△28%
中国	942	10%	1,199	12%	△257	△21%
合計	9,500	100%	10,337	100%	△837	△8%
海外売上収益比率	78%		80%			

■ 19年度のマイニング売上収益は、予想為替レートの円高影響あるも、対前年同期比16%増収の1,862億円を見込む

(単位：億円)

(注) (○) は全社売上収益に占める比率

[ % ] は対前年同期 伸び率

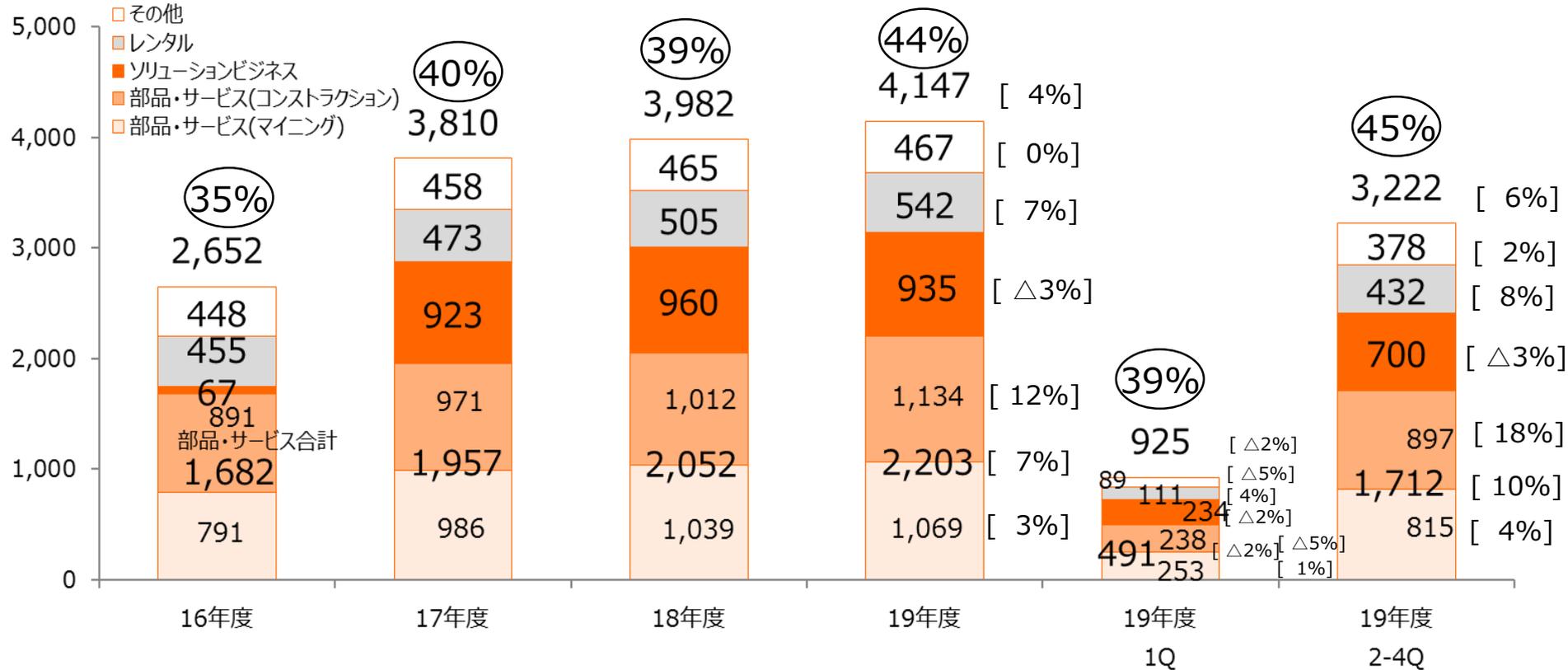


# バリューチェーン<sup>(\*1)</sup> 売上収益推移 (予想)

■ 19年度売上収益は、予想為替レートの円高影響あるも、部品サービス、レンタルの売上増により、合計では対前年度比4%増を見込む

(単位：億円)

(注) (○) は全社売上収益に占める比率  
[ % ] は対前年同期 伸び率

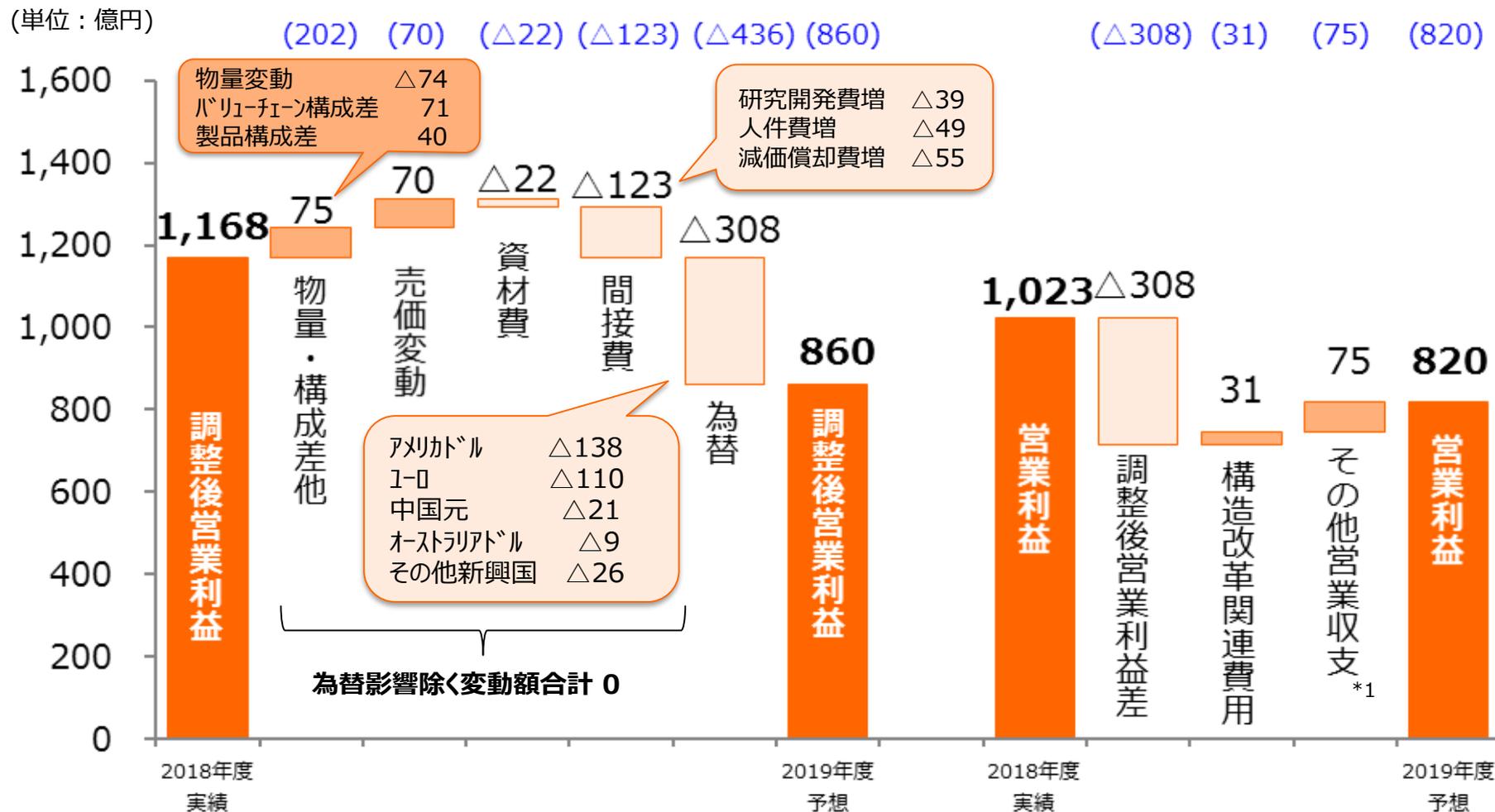


( \* 1 ) バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計

( \* 2 ) ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

■ 19年度調整後営業利益は、予想為替レートの円高影響△308億円を除けば、ほぼ前年並みを見込む

注.( )内は19年4月公表値



\*1 その他営業収支:(18年度に)中国での過年度過払い増徴税の回収懸念についての処理額88億円を含む

■ 19年度予想為替レートは、先行きが不透明な世界経済等を踏まえて、通貨毎に予想変動レンジの下限をもって設定した

## 為替レート及び為替感応度

(単位：億円)

通貨	為替レート				感応度(2Q-4Q累)		
	19年度			18年度 実績	基準	売上収益	調整後 営業利益
	1Q 実績	2Q-4Q 予想	年度 予想				
アメリカドル	109.9	100.0	102.2	111.0	1円円安になった場合	18	13
ユーロ	123.5	110.0	113.3	127.9	1円円安になった場合	5	6
中国元	16.1	15.0	15.3	16.6	0.1円円安になった場合	4	1
オーストラリアドル	76.9	77.0	77.0	80.9	1円円安になった場合	16	2

## <参考資料 2> マイニング売上収益内訳

HITACHI

Reliable solutions

(単位：億円)

		18年度実績			19年度予想			差額		
		1Q	2-4Q累	年度	1Q	2-4Q累	年度	1Q	2-4Q累	年度
米州	ショベル	27	119	146	34	130	164	8	11	19
	トラック	17	53	70	13	44	57	△ 4	△ 9	△ 13
	計	44	172	216	47	174	221	4	2	5
欧阿中東	ショベル	66	181	248	58	224	282	△ 8	43	35
	トラック	29	141	170	30	155	186	1	14	15
	計	95	322	418	88	380	468	△ 7	57	50
アジア・大洋州	ショベル	118	520	638	180	647	827	62	127	189
	トラック	96	219	315	60	265	325	△ 36	46	10
	計	214	739	953	240	912	1,152	26	173	199
中国	ショベル	1	8	10	2	8	10	1	△ 0	1
	トラック	0	1	1	0	1	1	0	△ 0	△ 0
	計	2	9	11	2	9	11	1	△ 0	0
日本	ショベル	1	9	10	6	3	9	5	△ 6	△ 1
	トラック	0	0	0	0	0	0	△ 0	△ 0	△ 0
	計	1	9	10	6	3	9	5	△ 6	△ 1
合計	ショベル	213	837	1,051	280	1,012	1,293	67	175	242
	トラック	142	415	557	103	466	569	△ 38	51	12
	計	355	1,252	1,608	384	1,478	1,862	28	226	254

■ 下記ソリューションビジネスの調整後営業利益には P P A (資産再評価)償却費が含まれております。  
19年度第1四半期実績3億円、19年度累計予想は14億円が含まれております。

(単位：億円)

19年度 1Q	報告セグメント		調整額 *1	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリューション ビジネス		
売上収益	2,113	240	△ 6	2,347
調整後営業利益 (PPA差引後)	9.8% 207	9.0% 22	-	9.8% 229

(単位：億円)

19年度 予想	報告セグメント		調整額 *1	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリューション ビジネス		
売上収益	8,565	935	0	9,500
調整後営業利益 (PPA差引後)	9.0% 768	9.9% 92	-	9.1% 860

\*1 [調整額]は、セグメント間取引消去額、及び事業セグメントに帰属しない全社に係る金額です。

## 【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

# END

## お問い合わせ

日立建機株式会社

ブランド・コミュニケーション本部

TEL : 03-5826-8152

FAX : 03-5826-8209

HITACHI  
Reliable solutions

「ほら、みて！」

昔のものから最新のものまで、建設機械が集まりました。全部、日立建機の建設機械です。私たちは初めて国産技術で機軸式ショベルを開発・製造し、お客様の期待に応えるために一丸となって技術を進化させてきました。油圧ショベル・ミニショベル・ホイールローダ・鉱山機械・運路機械…多種多様な機械は、今日も世界中で活躍しています！最後に豆知識をひとつ。建設機械の色は、メーカーごとに違うんです。例で、日立建機を探してみてください。

この色の建設機械を見かけたら、それは、日立建機です。

日立建機株式会社  
www.hitachi.com/global/jp/